

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成 28 年 3 月 23 日 (水)
招集の場所	議員控室
開会	午後 1 時 26 分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 吉田 二郎 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 橋本 四郎 委員 佐野 善弘 委員 平吹 俊雄
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	主幹兼議事調査係長 相澤 正典
協議事項	研究テーマの進め方について
その他	なし
閉会	午後 2 時 15 分

2号様式 協議の経過

	開会 午後1時26分
福田委員長	<p>皆さん、お疲れ様でございます。ただいまより、教育、民生常任委員会を行います。委員全員出席ですので、委員会は成立いたしております。</p> <p>研究テーマに入る前に、皆さんに事前にお配りしておりました子ども医療、国の削減措置についての新聞記事がありましたので、これによりますとNHKのニュース、データでちょうど拾ったものですから、今日の新聞に載るだろうなと思っていたのですけれども、1社に載っていたので、厚労省の諮問機関に対して、意見を求めて見直しを求める意見が大勢だったんですけれども、両論併記、せめて未就学児については全国一律の制度として、どこに住んでいても同じであるべきであるとの意見の一方で、医療費無料化は過剰診断などを生じるため基本的に好ましくない。</p> <p>軽減処置については、この削減措置については削減措置は、やめるべきであるというような意見も出されていまして、データでは5月頃にこれが、はっきり結論づけられるという報道のようでした。</p> <p>そういった意味で皆さんのご賛同いただきまして、全会一致で意見書採択いただきましたけども、これ私たちの意見書も後押しなるのかなと思います。</p> <p>近隣では大崎市議会も全会一致で通ったという情報は受けております。以上、こども医療費の国の削減措置見直しを求める意見書について、お話をさせていただきました。</p> <p>それでは今日の常任委員会の会議の中身は、皆さんにご案内してありますとおりの今後の進め方についてを皆さんで協議していきたいと思ます。</p> <p>予め、私の進め方としてボードのほうに書かせていただきました。見ておわかりと思うのですけれども、4月に町の取り組みと町の搬出量などの状況を担当課から資料に基づいて説明を受けたいと。</p> <p>5月には大崎広域等のクリーンセンターと大崎広域中央クリーンセンター・リサイクルセンターと、これは大崎市にあります・・・、の現調やりながら説明いただくと。</p> <p>6月には先進地視察について。これについては、皆さんに予め、全国の番付が載っておりますので、それに則って先進地視察地を決めていきたいと。</p> <p>7月には先進地を視察して、8月には、そのまとめを行って9月議事に報告しなければなりませんので、それをまとめていきたいと。</p> <p>10月に、町の提言事項について皆さんと協議しながら、それから担当課との意見交換も含めて行っていきたいと。</p> <p>11月には、12月定例会の提言事項を確認しながら、提言事項をまとめ</p>

	ていきたいという方向でというのが委員長からの案でございます。 これについて何か足すもの、これはいらぬというものがありましたら御意見をいただきたいと思っておりますけれども、皆さんの案をお聞かせいただいても構わないのですが、ありませんか。進め方について考えてきたらと思うのですけれども。
柳田委員	いや、偶然、委員長と一緒にです。
福田委員長	この方向でよろしいですか。(「はい」の声あり)この方向でいきたいと思っております。 では、4月に町の取り組みと町の搬出量の状況、一応、私たちデータをいただいているんですけれども、なお、現在の量については、どのようになっているのか、状況を担当課の方から資料いただきながら確認していきたいと思うんですけれども。必要な資料、こういったものが必要でしょうか。
福田委員長	はい、大橋委員。
大橋委員	毎年、分担金が確定されてきているんだから。早い段階でくるんだよね。
福田委員長	28年度については、26年度の実績に基づいて。あと、補正で。
大橋委員	だったら、その26年度あるのでは。
福田委員長	26年度、資料として求めるのは平成26年度。実績ですよ。
大橋委員	一般廃棄物・・・。
福田委員長	これと同じ表でよろしいですか。28年3月1日現在のやつもらえばいいですか、その資料。あと用意してもらう資料、何がいいですか。いただく資料として。
福田委員長	はい、柳田委員。
柳田委員	先進地のごみの分別をどのようにしているかとか。どのような取り組みをしているとか。
福田委員長	まず、町の・・・。
柳田委員	うちの町としても、比較できるじゃないですか。それは、まだ先の話ですか。
福田委員長	まず、町の状況、先ほど佐野委員から、この資料いただいたんですね。これによると、いろんな分け方とか、いっぱい書いてあるんですけれども。これが各家庭に配られております。普段、目にしていない方がいるかと思うので。これをいただきますか。用意していただいて。
佐野委員	町民生活課からいただきました。
福田委員長	はい、この冊子をいただくと。
吉田副委員長	21年度なので、もっと新しいのあるだろうな。
福田委員長	もっと新しいの、これ21年4月だからね。
佐野委員	いや、これ以上、新しいのがないのではないかな。変わってない。
福田委員長	あと、いただく資料についてはありませんか。

	リユース、一人1日当たりのごみ排出量も書いてありますし、それからリサイクル率も書いてありますので、この一覧表でわかるだろうと思いますけど。
平吹委員	いや、だから、いろいろな廃棄物あるでしょう、ビンとか、(「それは書いてある」の声あり)あんだけれど、町としてどのくらい把握しているか、それもわからないから。じゃなくって、個々ごとに、そういうのないの。
大橋委員	種類ごとのリサイクル率とかですよ。
福田委員長	分別ごとの。
柳田委員	収集率、リサイクル率。
福田委員長	元の収集量ですか。分別ごとの。
平吹委員	いや、今でもやっているところあるだろうから。もちろん、ほとんどやっているだろうけれどね。前よりは、大分は、その量というのは少なくなってる。
福田委員長	ほかにありませんか。はい、佐野委員。
佐野委員	ごみの種類によって、収集するところ違うはずですね、委託するところ。国本だったり、いろいろ(「搬入先、搬出先って言うの」の声あり)私、衛生組合やっているから。(「詳しいわけだな」の声あり)
福田委員長	搬出先の…。
佐野委員	その、どここの…。
福田委員長	量も合わせてね。
佐野委員	はい。あと、そのどこに委託しているか、違うはずですよ。(「それによってね」の声あり)それによって。
福田委員長	収集車のこと。
佐野委員	収集車がどこに持っていくかですか。(「ここだけでしょ」の声あり)処理するところ。
吉田副委員	いや、燃えるごみは東部に。
福田委員長	搬出ルート。
佐野委員	リサイクルとかの。燃えるごみは、あそこだと思った。違うはずですよ。
平吹委員	違うでしょ。ビン(聴取不能)段ボールは業者だし。
福田委員長	委託業者と搬出ルートですか。委託業者…。
吉田副委員長	あるかもしれない。段ボールと新聞紙…。
佐野委員	国本も一回なんか集めて、そこからなんか、こう振り分けしているというようなこと俺は…。
福田委員長	分別ごとの収集量と搬出ルート、それから委託業者と業者名ですか。名も。(「業者」の声あり)名と搬出ルート。ほかにありませんか。担当課からお聞きするんですけども。ほかに資料よろしいですか、町からの資料。はい、柳田委員。

柳田委員	<p>現在、収集活動をしている地域活動団体の一覧があれば。(「ない」の声あり) ない。(「調べてみる…」の声あり) なかったの。補助金一切出してないということ。ゼロという。</p>
大橋委員	<p>ここにある集団回収量というのですか。ということでないの。違うの。ゼロになっている。</p>
柳田委員	<p>これって何なんでしょうね。</p>
福田委員長	<p>これもお聞きすればいいの。(「そうだね」の声あり) ほかにありませんか。なければ、平成 28 年 3 月現在の一般廃棄物処理事業実態調査結果総括表と、それから分別ごとの収集量と委託業者及びその搬出ルート。ほかにありませんか。 あとは、ごみを減らすために、ごみの排出量を減らすために町としての施策も考えていると思うので。施政方針に載ってなかったかな。3 R 取り組みの... 3 R だね。本町の 3 R 取り組みについて。以上のことでよろしいですか、町に。 なければ、日にちを 4 月ですね。日にちを決めたいと思いますので。日にちを決めてから担当課と打ち合わせをしていきたいと思います。13 日はいかがでしょう。(「いかもしれないですね」の声あり) 13 日午後から。4 月 13 日午後からはいかがでしょう。(「いいね」の声あり) 4 月 13 日 1 時半からということ担当課と調節していきたいと思いますので、暫時休憩いたします。</p>
	<p>休憩 13:45</p> <p>再開 14:02</p>
福田委員長	<p>再開いたします。委員全員出席ですので委員会は成立いたしております。ただ今、担当課と打ち合わせをしまいいりました。一覧表につきましては確認するというので、26 年度版をいただくということで。 それから分別ごとの収集量と、委託業者名と及びその搬出ルートについてもお願いをいたしました。本町の 3 R の取り組みについてもお聞きするというので、今確認してきたところでございます。 それから、各家庭に配っています、ごみ分別一覧表のポスターです。これ一人 1 枚ずついただいてきました。それから先ほどの佐野委員がいただいてきた冊子、保存版ですね大崎広域でも印刷物が足りないとのことで、それで、今、町民生活課で転入する方に、これを 1 冊お渡ししているもので、かなり少ないんですということ、皆さんに 1 冊ずつお願いしようかと思ったのですが、残念ながら、今ここに 5 部しかないんですね。 皆さん、家に帰って、もしあれば、それを使っていただくということに。一人 1 冊ずつには、なかなか... 家にはないですか。(「確認します」の声あり) ということで、これも両方とも預かっておきますので、4 月 13 日まで。極力探して持ってきていただければと思います。4 月 13 日 1 時半という</p>

	<p>ことで、了承得てきましたので、あらかじめ、こういうのが聞きたいというのがあれば考えて、そのときに思いつきでなく、ぜひ、考えてきていただきたいと思います。本日の会議は、これ、協議…。(「それで」の声あり) はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>ごみというのは、ひとつごとではないんです。皆さんが出しているんです。私は、自分のうちで捨てるから、私も捨てるから、どういうふうになっているか教えてもらえないか、生ごみから。佐野君のほうから。生ごみをお宅ではどうしているか。生ごみの処理。</p>
佐野委員	<p>生ごみは、三角袋に入れて、(「その先だろう」の声あり) 入れて水分取って、あとは燃やせるごみ。</p>
橋本議員	<p>うちで処理しないの。</p>
佐野委員	<p>しないです。</p>
橋本委員	<p>農家でもしない。</p>
佐野委員	<p>してないです。</p>
橋本委員	<p>してないの。</p>
佐野委員	<p>しないの。</p>
橋本委員	<p>コンポストは。</p>
佐野委員	<p>コンポストはありますけれど使ってないね、今ね。3個ぐらいあるけれど。</p>
橋本委員	<p>コンポストというのは、堆肥のことコンポスト言うそうだからね。だから、コンポストのポストって(聴取不能) ただ、お宅もそうですか。</p>
柳田委員	<p>牛を飼っていますから堆肥です。</p>
橋本委員	<p>ああ、そうだよ。だから、何かというと、ごみふえていることは、私たちにも関係するんですよ。自分たちが何をするのか。どういうことしていったら、燃えないごみは六つの容器に入ってます。アルミ缶、スチール缶、それから再利用できない缶、壊れたガラス管、ガラス瓶、こういうそういうふうに容器に入れて、それをわがほうの行政区でやっているリサイクルのほうに出すようにしている。だから、そういう皆さん方、ビール飲んだあと、どうします。</p>
平吹委員	<p>ビール瓶は業者。ただ、ビール瓶以外はうちでもって、あと古川にもっていくね。(「持っていくの」の声あり) うん。(「自分のうちで」の声あり) うん。溜めてもっていくから。</p>
橋本委員	<p>売るんでなくして届けるの、わざわざ。</p>
平吹委員	<p>ビール瓶以外だよ。例えば、ドリンクの瓶とかあるでしょ、ああいうのは。</p>
橋本委員	<p>自分たちがどうしているのかということのを頭に入れながら、みんな、こうしろではないんだから。自分も含めて、やっぱりやれないところあったらやっていくべきだ、できるだけ。ごみとして出さないようにしよう、再</p>

	<p>利用しようということで、この話が出ていると思うから。</p> <p>自分たちがしている経験というの出しながら、大崎へ行ったと何かといったら、その処分のほうしかやってないから。例えば、缶の整理なんていうのは、流れ作業の中で、アルミ缶とスチール缶と分別してわけていると。そういう作業見るだけだから、自主的には、ごみの減量化というのは、私のほうなんです。家庭なんです。家庭でどうしているかということの選定をしばらくやっているから。だから、そういうことで、ごみに対する家庭の意識というのの少なくなってね。出せるところから、それをどう抑えるか。だから、端的な話こう言ったことがある。あるとき、課長が新聞紙をごみ箱入れていたんです。あんた、これどうしたのと。そしたら、あっとなって投げないですと。新聞1日分の重さいくらあるかわかりますか。2百グラムです。</p>
平吹委員	2百グラムって、あの大きなページですか。
橋本委員	<p>1日分。だから、大体、4ページのやつが20グラムというの。(「1枚」の声あり) なんてかと言うと、俺は、自分で町民に説明しやすいから。</p> <p>町民の人、俺のまわりにも2百2十戸。百人の人が協力しても1カ月出る新聞の量というのの少なくとも何トン、何百キロなるねと説明しているの。それで俺、目方持ってます。1枚いくらかというのを含めてね。</p> <p>だから、ある程度、やっぱり、我々が関心もって、自分自身がやる、そのこと担当課を通じて、町民の皆さま方に理解してごみを少なくしていこう、そういうようなこういう方法あるね。一番何かというと、やっぱり、私は各地区でもらうのなら、集積所を設けることです。その班、行政区の。行政区が集積所を持っていれば、そこに、皆さん運んでくるから。</p>
平吹委員	集積所持っているんじゃないの。
福田委員長	集積場、各…。
橋本委員	<p>持って帰るんでしょ。持っていくのでなく、自分のところで処理したかったら、自分のうちに持っていけば一番早い。これ、農家だけはできません。農家のある…。(「燃えるごみ」の声ありの声あり) 燃えるごみ…。(「リサイクルのほうですよ」の声あり。) うん。</p>
福田委員長	リサイクル、自分のところで自分でできないよね。
柳田委員	だから周りの人と組んで、どこか地域に集積所を設けて、その地域の人、空き缶だったり、そういうリサイクルなどの同じ地区にみんなが持ってって溜めておいて、それを共同でリサイクルにしてお金にして地域の足しにしようという話です。
吉田副委員	業者の人だって、個人的に集積所に出して業者がもって行って、リサイクルセンターに持っていくんですよ。
柳田委員	個人的にやると、どうしても個人の意識別にやっているところ、やらないところあるから、地域で1カ所の集積所を設けることによって地域ぐるみで、みんなと同じ意識を持って集めて、それできるようになるでしょ

	と言っているんです。(「そのとおり」の声あり)
平吹委員	そういうこともあるし、うちの方の場合は、例えば、アルミ缶とそれから新聞紙とか段ボールというのは、子どもたちの廃品回収に出しているのね。あの人たちも現金だから、金目のあるものは以外は、いららないと言って、鉄やるからと言ったら、鉄いりませんって言われて。年に2回ですか。(「だと思う」の声あり)
柳田委員	今、その子ども会でやっていることに対して、何も補助ないと思います。
橋本委員	助成金くれなくなったら、余計やめた。1キ口当たり2円になるから。
吉田副委員長	それもあるし、子どもたちがいなくなってきたんだって。
福田委員長	自慢話なりますけれども。素山自治会で子どもを含んだ資源回収活動を2カ月に1回やっているんです。それで、子どもが必ず参加して、子ども会に助成金をその中から出して、各家庭、各ごみ置き場に出してもらって、それを町、自治会の人たち、3台、軽自動車を使って全部集めて、それで1か所で、直接富士ケミカルに持って行ってもらって、それをお金に換算して、すごくコミュニケーションになってますね。段々、単価が低くなっているんで、この頃は赤字になっていますけれども。 ただ、みんなが一生涯懸命、それに参加してくれるということで、1年に1回ですけれども、ごみ袋20袋か、20袋入ったごみ袋を各家庭に配っているという。(「なるほど」の声あり)
柳田委員	ただ、そういう個別の対応方法というの、ほかになかなか聞こえてこないですからね。そういう情報あるのであれば。
福田委員長	あとリサイクルについては、生き瓶とかアルミ缶・・・、アルミ缶以外、アルミ缶は自治会でやっているけれども、そのほかの茶瓶とかそういうのは、ちゃんと当番ついていて、みんなで交代制で当番ついて指導しているという形をとっているんですね。。
橋本委員	ちなみに、私、さっき言ったように六つの分類して、燃えないごみの区別しながらリサイクルしていると言ったけれどもね。お嫁さん、農家であるけれども、コンポストを使っているんです。これはもう、10、20年ぐらい使ってます。よく壊れないなと思って。コンポスト使いながら、あるいは、もう一つは、自分のところいくら庭あるから、今度土地買ったから広いわけね、そこに草なんか置きながらね、動物の食わないやつはそこに投げる。例えば、野菜くず、投げよと。こういうことして、お嫁さん分別している。
吉田副委員長	確かに、今、橋本さん言ってくれたみたいに、生ごみの処分というのそれが一番大きい。燃やすごみばかりと思ったけれども、佐野君みたいに、水をすっかり、完璧ではないのだけれども、ある程度切って、それで燃えるごみに出せばいいんだけど。水たまりみたいに一緒にビニールに入っていて捨てられて・・・。
橋本委員	切るのは大変だと思います。

吉田副委員長	それで、そういうふうにしてあげれば一番いい。
橋本委員	ただ、こっちも当事者なんだから。自分も出す側なんだから、どうしたほうがいいのかということ考えながらね。その良いほう考えながら、向こうのほうに、なるべく出さない方法、お互い考えて...
大橋委員	生ごみなんだけれど、前に、記憶違いかどうかわからないんだけども、全部乾いたごみだと焼却所が大変だということで、生ごみも出してくれみたいなのあったような気がした。
柳田委員	違う、なんか、その大橋さんのその話、前も聞きました。
大橋委員	前にね、なんかそういうような話あったような、窯の温度が上がり過ぎるというようなこともね、その辺も、今度調査でね。
福田委員長	合わせてね。
橋本委員	あそこも 800 度(聴取不能)いるんですよ。なぜかというダイオキシンの関係。
福田委員長	クリーンセンターに行けば聞ける。
橋本委員	ダイオキシンのやつは、従来の電気集塵方式というのをやめて、バグフィルター方式のやつ。これできたのは、今の町長がなって5、6年後でない。
大橋委員	俺の家でも、堆肥に生ごみ投げるから猫の巣になるからと近所から苦情きて、埋めるんだけど掘るんだよね、猫が。(「そういうのあると言うことね」の声あり)カラスだったらいいけれどもなというのあるね。カラス。
橋本委員	自分たちも関係あるということで、自分も含めてどうしたらいいかということで担当課に話を聞くという気持ちになって。
福田委員長	そういった意味では4月13日充実した協議になるかと思えますけれども。ほかにありませんか。なければ、これで、きょうの協議は終わりたいと思います。はい、副委員長。
吉田副委員長	本日は、大変御苦労さまでございました。ちょっと早いようで、なんか中身の濃い初回の打ち合わせになりました。これから、この目標あります。常任委員会で、全面的に取り組んでいきたいと思えますのでよろしく御協力をお願いしたいと思います。なお、相澤係長さんとは、本当に、今回で(「きょうで終わりじゃないでしょ」の声あり)とにかく、おいでくださいと言えは来るかもしれませんけれども、大変、御指導いただきまして改めましてありがとうございました。他の課でも頑張ってください。どうも、済みません、ありがとうございます。
	閉会 14:15

会経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 28 年 3 月 23 日

教育、民生常任委員会

委員長
